

医療費の窓口負担 「ゼロの会」は、医療費窓口負担の 「解消」を目指しています

私たちも「ゼロの会」に賛同しています



朝丘雪路氏
(女優・日本舞踊家元)



故・城山三郎氏
(作家)



なだいなだ氏
(作家)



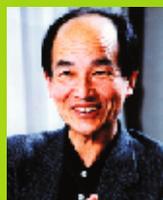
むのたけじ氏
(ジャーナリスト)



志茂田景樹氏
(作家)



大谷昭宏氏
(ジャーナリスト)



早乙女勝元氏
(作家)



水野晴郎氏
(評論家)



齋藤 榮氏
(作家)



千葉茂樹氏
(映画監督)



稲川淳二氏
(タレント・工業デザイナー)



吉村明宏氏
(タレント)



三田村邦彦氏
(俳優)



ケーシー高峰氏
(俳優・漫談家)



山田洋次氏
(映画監督)

加賀まりこ氏(女優)
風間トオル氏(俳優)

窪塚洋介氏(俳優)
熊谷富裕氏(TVドキュメンタリー・プロデューサー)

中西新太郎氏(大学教授)

医療費の窓口負担の「解消」を求める請願署名

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

【請願趣旨】 格差社会が深刻化し、医療費の窓口負担(一部負担金)が家計を圧迫しています。日本では受診の際に窓口負担を支払いますが、欧州では負担は原則ありません。重い窓口負担により受診抑制が生じないよう、憲法第25条の「生存権」を保障するために以下の事項を要望します。

【請願事項】 医療費の窓口負担(一部負担金)を「解消」すること

お名前	ご住所

【取り扱い団体】 医療費の窓口負担「ゼロの会」事務局：神奈川県保険医協会

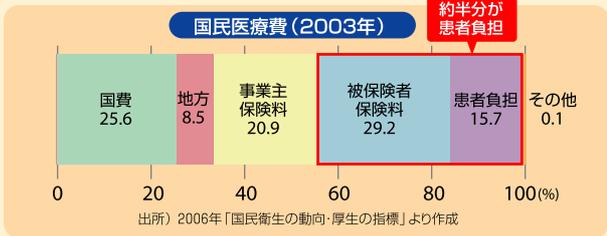
〒221-0056 横浜市神奈川区金港町 5-36 東興ビル2F tel:045-453-2411 fax:045-461-0215 <http://www.iiiry.com/>

Q&A 医療費の窓口負担 『ゼロの会』Q&A

『ゼロの会』は、医療費窓口負担の「解消」を目指しています

Q1 なぜ窓口負担「ゼロ」を目指すのですか？

A) 窓口負担3割と保険料の値上がりで、患者負担は重くなっています。治療中断や受診の手控えも目立ってきています。お金を気にせず、安心して医療を受けられる仕組みが必要です。



Q2 窓口負担「ゼロ」なんて理想的過ぎませんか？

A) 窓口負担「ゼロ」は、先進諸国では当たり前です。保険料を月々支払っているからです。ヨーロッパ諸国やカナダなど、多くの国で実現しています。

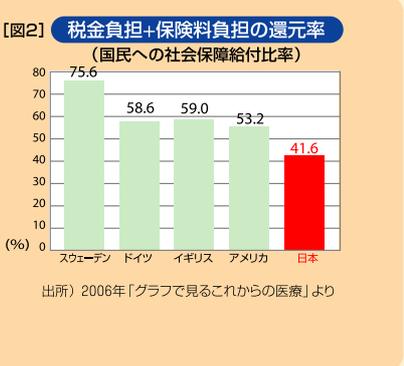
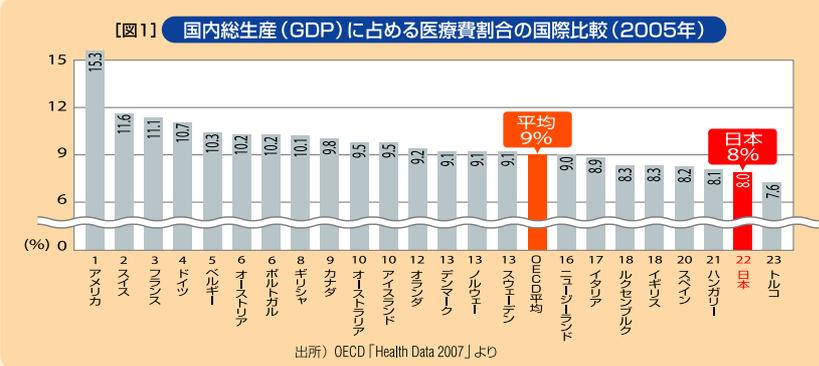


Q3 窓口負担「ゼロ」にすると受診率が上がり、医療費が増えませんか？

A) 窓口負担が医療費全体に与える影響は、実は小さいのです。症状の重い患者さんは、負担の多少に関わらず、当然治療を迫られます。かぜなど軽い症状の方は、負担「ゼロ」で受診がしやすくなるかもしれません。しかし、大多数を占める軽い患者さんが使うのは、総医療費のわずか20%です。政府の報告書でも、「窓口負担割合が医療費に影響しない」ことが報告されています。

Q4 それでも、医療費が増えて財政を圧迫しませんか？

A) 現在の日本の医療費水準は、経済規模に比べ非常に低いのです。先進諸国30カ国中、わずか22位に過ぎません(図1)。また、納めた税金や保険料が医療・福祉に使われる割合も、先進国中最低です(図2)。まずは、税金や保険料が、国民の医療・福祉のためにきちんと還元されるように、無駄遣いを見直すべきです。



マスコミ注目! 続々と反響・賛同が寄せられています

2007/4/16 朝日新聞 より

ドキュメント 医療危機 ⑩ 編集委員・田辺功

患者の窓口負担「ゼロの会」始動

「ほとんどの医師ははじめにやっているのに、国民の不信は強い。医療はどんどん悪い方に向かっていく。患者と一緒にこの運動を進め、よい方向に戻そう」

昨年2月、高い窓口負担が話題になった。平尾紘一理事長(65)が体験を語った。「カナダもヨーロッパも窓口負担はない。デンマークでは入院した日本人旅行者に付き添った者の食事まで無料だった。そもそも、負担がある方がおかしいのではないか」

国の財政難が強調されているなかでの「逆転の発想」だ。池川さんから約10人の医師たちが可能性を検討、昨年夏に運動の構想をまとめた。

3月6日(火)横浜。雨。

この夜は「医療費の窓口負担『ゼロの会』」の説明会に出席した。事務局がある神奈川県保険医協会の会議室には約30人が集まった。保険医協会は開業している医師、歯科医師の県ごとの団体で、全国保険医団体連合会を組織している。

愛称「ゼロの会」は今年1月に発足した。診察を受けると窓口負担がある。いまは国民の85%が3割負担で、お金が払えずに治療をやめる患者も出てきた。30万以上もの世帯が国民健康保険の保険料を滞納し、保険証の扱いを制限されている。医療費の踏み倒しも増えた。

会の代表格、産婦人科医師の池川明・同協会医療運動部会長(52)が説明に立った。

「欧州各国に窓口負担はない。保険の原点に戻り、負担ゼロの実現をめざす。署名を集め、国会に働きかける」